



TITLE:

表紙、プログラム、もくじ、はじめに 他

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙、プログラム、もくじ、はじめに 他. 第6回天文台アーカイブプロジェクト報告会集録 2016, 6

ISSUE DATE:

2016-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/204370>

RIGHT:

——研究資源アーカイブ映像ステーションイベント——

## 第6回天文台アーカイブプロジェクト報告会集録



2015年8月26日 京都大学映像ステーション

京都大学総合博物館・研究資源アーカイブ＋理学研究科附属天文台＋  
理学研究科宇宙物理学教室 共同プロジェクト



第6回報告会参加者のみなさん（京都大学映像ステーションにて）

（表紙写真は自作のラジオを聴きながらつろぐ山本一清、ラジオは棚の天板の右端に載っている。裏表紙の写真は山本一清自作のラジオ。いずれも 1924 年 3 月 6 日、留学中のハーバード天文台近くの自宅にて）

## 第6回天文台アーカイブプロジェクト報告会集録

京都大学総合博物館・研究資源アーカイブ＋理学研究科附属天文台＋  
理学研究科宇宙物理学教室 共同プロジェクト



## プログラム

日時：2015 年 8 月 26 日（水）13 時～17 時

場所：京都大学研究資源アーカイブ映像ステーション（京都大学稲盛財団記念館 1 階）

### 第1部 資料寄贈契約・目録贈呈式

資 料 名	寄 贈 者	受 贈 者
・ 山本天文台資料	山本 章氏	花山天文台長柴田一成教授
・ カルバー46cm 反射望遠鏡 および天文関連資料	坂井義人氏 (坂井氏との受贈式は都合によりとりやめ)	花山天文台長柴田一成教授

### 第2部 講演

1. 花山天文台科学館構想	柴田一成
2. アナナイ天文台の活動（その2）	五味政美
3. 山本天文台資料中のレコード盤のデジタル化	五島敏芳
4. 山本一清と三五教そして沼津月光天文台	渡辺美和
5. スコフィールドの夢	富田良雄

## 参加者（敬称略）

山本家関係者：山本章、成子邦夫、奥村直尊、船橋

総合博物館：五島敏芳

学術情報メディアセンター：浅川友里江

花山天文台：柴田一成

宇宙物理学教室：富田良雄

月光天文台地学資料館：五味政美

東亜天文学会：宮島和彦、佐竹真彰、渡辺美和

（以上 12 名）

## 参考展示資料

- ・ 中村要と R.スコフィールドの往復書簡（翻刻）
- ・ 藤井天文台天文通信（翻刻）

## 寄贈契約・目録贈呈式



契約書に署名捺印する山本章氏（奥）と柴田天文台長



天文台長より山本氏へ感謝状の贈呈



感謝状と山本天文台資料目録を手に

## はじめに

今回で第 6 回目となる天文台アーカイブプロジェクト報告会では、山本天文台資料寄贈の正式契約をおこなった。遠路駆けつけていただいた方もあり、興味深い報告に議論も深まった。

今年度の大きな出来事は、山本天文台資料の目録が完成し、報告会の冒頭で寄贈者山本章氏と柴田一成附属天文台長との間で書面にて契約が交わされたことである。なおカルバー46cm 反射赤道儀および関連資料については坂井氏の体調不良により契約延期となった。

報告会において柴田台長から話されたように花山天文台博物館構想とその運営母体となる社団法人設立の方向にむけての動きが始まっている。時間はかかるかもしれないが、京大の天文学の百年の歴史を語るものとして、これらの活動が実現してゆくことに期待したい。

この 1 年の間に多くの方々が資料室を見学・閲覧してくださった。詳細は巻末の「山本天文台資料室日誌」をごらんいただきたい。総合博物館での「研究を伝えるデザイン」展などに資料の貸し出しを行ったり、附属図書館の機関誌『静脩』に資料室所蔵の天文図 3 点の紹介記事を掲載していただいた。また、宮本正太郎博士の天文関連資料が新たに 70 箱寄贈された。

山本一清・中村要と親交のあったアマチュア火星観測家 R.スコフィールドのカルバー8 インチ反射望遠鏡が長野市立博物館にて再発見され、同博物館との共同調査研究が進んでいる。

また第 5 回報告会集録で報告した「藤井天文台探訪記」を、附属図書館のデジタルリポジトリに公開されている電子版でごらんになった大津市のかたから連絡があった。地元大津市平野学区でも藤井天文台のことを調べておられ、「藤井天文台天文通信」の翻刻版などの情報を提供したところ、それらを参考にして紹介記事を地元のミニコミ誌『ひらの再発見第 14 号』に掲載し送付してくださった。

来春には、アマチュア天文家所蔵の望遠鏡を中心に多数の天体望遠鏡を集めて資料としての公開と市民観望会を開催する「天体望遠鏡博物館」が香川県に開館する。また 2021 年は山本一清らが立ち上げた東亜天文学会が創立 100 周年をむかえる。

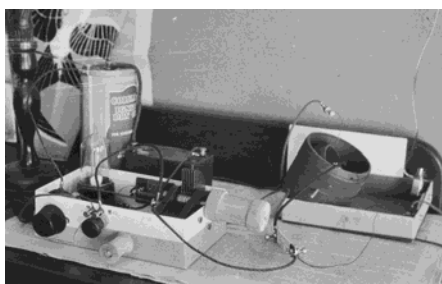
京大における天文学研究と一般普及について、すこしずつではあるがこうして進展しつつあり、今後の調査研究の発展が期待されるところである。

(2015 年秋 富田記)



## もくじ

山本一清博士とあなない天文台（その2）	．．．．．	五味政美	1
山本天文台資料中のレコード盤のデジタル化	．．．．．	五島敏芳	8
山本一清と三五教沼津香貫山天文台	．．．．．	渡辺美和	15
暗号コードと火星	．．．．．	富田良雄	32
その他発表以外の参考記事			
・1957年と1958年の山本一清の手帖について	．．．．．	坂井義人	39
・『天文年鑑の変遷』	．．．．．	富田良雄	46
・徳川吉宗の大望遠鏡と山本一清	．．．．．	富田良雄	49
山本天文台資料室日誌	．．．．．	富田良雄	54



**第6回天文台アーカイブプロジェクト報告会集録**

発行日：2016年1月吉日

発行者：天文台アーカイブプロジェクト

編集：富田良雄